

## 事業実績報告書

様式2  
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-46	講座名	竹の伐り出しから！本格『門松』づくり ～大人の自然工作～
記載日	2021. 12.20	団体名・企業名	NPO東海自然学園
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>『竹』をキーワードに、下記を伝える全4コマの講座を企画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な里山の現状と、里山整備の効果や必要性を伝える。</li> <li>●なぜ、身近な自然に『多様性』が必要なのかを考える。</li> <li>●自然を尊び、自然を活かし、自然を楽しむ日本の文化に触れる。</li> </ul> <p>座学にて里山の現状、竹の種類や特徴、自然を利用し楽しんできた日本の歴史や文化について学び基礎知識を得た上で、竹伐り体験や竹工作を実施。竹の特徴を上手く利用し、様々な技（へぐ、割る、曲げる、切る、削るなど）を使い、最終的には門松と竹のトラを完成させる。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
竹を伐り倒す体験、枝打ち体験をしている様子。		モウソウチクを伐り、割り、門松づくりをしている様子	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>●1日目の座学は、様々な竹の実物を回覧したり、充実した資料を配布するなど、初めての人も「竹」に興味をもち、理解を深められる内容だった。●竹伐り体験では、ヘルメットやゴーグルなどを着用し、4名に一人の指導者がサポートするなど、安全に考慮して進めることができた。また、参加者も初めての体験を楽しみ、里山整備への関心を深めていた。●2日目は午前、午後ともに作品作りであったため、時間が足りなかった。(15分延長した)できれば2日間に分けて実施すると良かった。●2日間一緒に活動する中で、参加者同士も距離が縮まり、助け合って作業したり互いの作品を評価し合うなどとても良い雰囲気だった。●最後には全員が門松と竹トラを完成させ、満足の笑顔で終わられて良かった。(準備が大変だったが報われた)</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●竹伐り体験は体力的に大変だったが、非日常的な体験でとても楽しかった。</li> <li>●竹林の中で体を動かし、汗をかき、とても良い時間が過ごせた。</li> <li>●竹の種類が良く理解でき良かった。</li> <li>●時間が足りなかったのが残念だったが、大変楽しい内容で学ぶ楽しさを知った。</li> <li>●立派な門松ができて満足。説明も分かりやすかった。</li> <li>●毎週〇曜日開催ではない単発の講座が参加しやすくありがたかった。</li> </ul>			